

ゼロアップセンター アンビアン便り 12月

徒然なるままに……

2009年師走ですね。走らないでね!(笑) アンビアンにとっては1月の初便りに書いた通り、「大変な年、即ち、大きく変わる年」でした。ただ変わるのではなく、大きく変わるのですから……。大波・中波・小波とサーフィンを楽しんだ一年でした。スリル満点の時もありましたが、未知の世界は 総じてワクワク楽しいステップアップ(?)をもたらしてくれました。この一年は特に、広く深い、柔軟で温かい『愛』の海でのサーフィンでした。節々に大いなる見守りが感じられました。『いま、ここ』で、幸せであることが感謝の証と感じています。

オバマ大統領のかけ声で始まった、世界の“change”は2009年(正確には2008年末頃)からでしたね。起承転結でいうと2010年は「承」、2011年は「転」、2012年は“change”の「結」。そして2013年からは輝ける新世界!ということに……?もっと早いほうがいいですよ。

さて、“宇宙はひとつの『エネルギーの海』”シリーズ7回目、最終回です。

“宇宙はひとつの『エネルギーの海』”

フィールド: 響き合う生命・意識・宇宙 = 音 & 光の交響曲

9. ボディ・マインド・スピリット(体・心・魂)の三位一体

ホリスティック医学は「人間まるごと」の医学(帯津良一)です。「人間まるごと」とは見える体、見えないからだ(心・魂)は勿論、人だけではなく、環境(社会、自然)、人生(生死を超えて)すべてを『場』=フィールド、すなわちエネルギー的にとらえています。正に三位一体で『場』です。WHO(世界保健機構)も数年前に健康の定義に“スピリチュアル”を加えています。加えざるを得ない根拠が多々あったからです。科学(医学を含む)とスピリチュアルの融合の時代です。海外ではエネルギー医療は進んでいます。残念ですが日本ではまだ鎖国(サングラス)状態に近いです。輝ける新世界では日本でも(フリー)エネルギー医療の認識が進むはず。

10. フィールド: 響き合う生命・意識・宇宙。ここに“私”は常に『在る』

宇宙は一つのエネルギーの海で、波(波動・周波数)で、情報(意識・感情)で、繋がっています。ワンネスで分離(かたち)も有りません。「有る」と思っているかたちは共感覚幻想でしたね。実在するのは意識(波動・情報)エネルギー、即ち“知性を持った音&光”の波といえます。それは“私”の本質、“魂 = 高次の自己”です。では、光と音が響きあって美しい愛の交響曲を奏でて

いる宇宙を、そして光と音が楽しく弾み、ダンスをしているような宇宙(=コズミック・ダンス)を感じてみて! 指揮者はSource(源、根源)です。感じている『今、ここ』が“私”の『場』です。常に宇宙の全てと繋がって自由に存在しています。宇宙のエネルギーの渦の中で状態が変化(循環&進化)しながら常に一過去も現在も未来もなく、常に一“私”は居ます(在ります)。

最後に、シリーズで一緒に感じてきたことやタイトルを下記にまとめてみます。

6月 フィールド = 『場』 = 空間 = 無

7月 波 = 波動 = 振動 = 周波数 = 情報

8月 宇宙、全ては繋がっている = ワンネス

9月 中間のまとめ *実在は意識エネルギーです。周波数の違いがあるのみです

*感じている『今、ここ』が“私”の『場』

*“私”の本質(魂 = 高次の自己)は 常に宇宙の全てと繋がって自由に存在している意識エネルギー

*ワンネスですから他人は居ません。困いを取れば“私”

10月 “私” = エネルギー = 光 = 波動 = 周波数

11月 “私” = 意識 = 波動 = 情報 = 光 = 周波数

12月 フィールド: 響き合う生命・意識・宇宙 = 音&光の交響曲

シリーズを通してイメージし、感じながらハートで読んで下さった方は 既に何となく感じられているでしょうね、死は存在しない事を! 実在するのは意識(波動・情報)エネルギーですから生も無く死も無し。なので“私”が死ぬ事は不可能です。元々、生も死も共感覚幻想でしたね!“私”が運転する三次元を支えてくれる体に愛・感謝・喜びを!同時に体の声に耳を傾けてね。

生命は死の反対語ではなく、死の反対語は「誕生」である。

誕生も死も生命の内だ。ーディーパック・チョプラ博士

<父&母へ:心から愛を送ります。「ありがとう!幸せです。愛しています!」>

“私”は宇宙と一体(愛・調和と豊かさ)で完璧です。では、何故わざわざワンネスから分離し、私達は時空(=次元)を越えて三次元に(共感覚幻想とはいえ)生まれてきたのでしょうか?

2010年も皆様の色々なご意見を楽しみにしています。元気で、良いお年をお迎え下さいませ。

ゼロアップセンター アンビアン

豊中市向丘2 - 10 - 7 - 202

TEL 06 - 6854 - 8810

E-MAIL zero@anbian.jp

ホームページ <http://anbian.jp>